

ましきラボ 益城だいすきプロジェクト・きままに

益城復興で「まちづくり賞」



表彰状を受け取った「熊本大学ましきラボ」代表の柿本竜治教授（左から2人目）と、「きままに」の吉村静代代表（同3人目）＝17日、益城町

価。「ましきラボ」は支援活動などの実践と継続、「きままに」は新しいコミュニティ形成への尽力が認められた。

17日、同町の町交流情報センターで表彰式があり、ましきラボ代表の柿本竜治教授と、きままに代表の吉村静代さんに、自治体学会の担当者が賞状を贈った。

柿本教授は「まちづくりの主役である住民のサポーターとして、よりよい町の未来を築けるよう継続したい」とあいさつ。吉村さんも「まちづくりは誰でも参加できる。これからも仲間と歩んでいきたい」と話した。

（立石真一）

まちづくりの分野で顕著な業績を上げた個人や団体を表彰する自治体学会賞の田村明まちづくり賞に、熊本地震からの益城町の復興を後押ししてきた熊本

大の支援・交流拠点「ましきラボ」と、NPO法人「益城だいすきプロジェクト・きままに」の2団体が選ばれた。全国の自治体職員や

研究者らでつくる自治体学会（東京）主催で10回目。被災を契機とした両団体の創発的なまちづくり活動を評